●腐食性ガス

電磁開閉器･電磁接触器が使用される環境で存在する腐食性ガスは亜硫酸 (SO_2)、硫化水素 (H_2S)、塩素 (Cl_2)、アンモニア (NH_3) ガス等で、導電部分はこれらのガスに強い金属でメッキすることにより保護可能ですが、接点はよい防食方法がないためこれらのガスによって接触抵抗が増加し高い温度上昇をきたす場合があります。
また、これらの腐食性ガスが存在しても乾燥している場合は腐食の進行速度が遅くなる傾向にありますので、盤内等をできる限り乾燥させて使用することも 1 つの対策となります。
電磁開閉器・電磁接触器でこれらの腐食性ガスに対して耐食性を増した仕様の防食仕様品 (MS-T/N □ YS、MSO-T/N □ YS、S-N □ YS、TH-T/N □ YS 形) も製作しています。
なお、S-T 形電磁接触器は標準品で耐食性を増した仕様としています。

●じんあい

鋳造工場、建設現場、粉体搬送機械等に使用される電磁開閉器・電磁接触器は比較的多量のじんあいをかぶることがあります。このような場所に使用する場合は制御盤を防じん構造にしてください。**また密閉状態で長期間連続使用されると接触障害などに至るときがあります。**

●熱帯地方への輸出

熱帯地方を通過する輸出品が受ける環境は高温多湿で、この中で電磁開閉器･電磁接触器に最も影響を与えるものは湿度です。湿度はかび、錆を発生させるもっとも大きな要因で、輸出品ではこれに耐えるようにする必要があります。
このため、JIS Z1402 の輸出梱包とするとともに湿度を下げるため、$1m^3$ あたり 3kg 以上の吸湿剤 (シリカゲル) を梱包箱内に入れることを推奨します。

3.6 使用上の注意

⚠電磁開閉器を定期的に点検する他、重要回路にはシーケンス上で危険防止等を施してください。
（電磁開閉器の接点は導通不良、溶着、焼損の可能性があります。）
⚠据付、配線、保守点検の際には電磁開閉器を電源から切り離してください。感電の危険性があります。また電磁接触器が振動、衝撃、誤配線などに起因した誤動作で重大な結果（機械の誤作動、電源短絡等）に到ることがあります。

●性能

本カタログに記載の性能は規格 (JEM1038「電磁接触器」、JISC8201-4-1「低圧開閉装置および制御装置」等) に規定の条件で試験した結果にもとずくものです。
実際の使用条件がこの試験条件と異なる場合には、御使用者自身で (実機にて) 評価してください。

●使用条件

本章記載の条件内で支障なく動作しますが、次の事項にご注意ください。

(1) 周囲温度

正常な使用方法であっても、絶縁の劣化は進行します。
特に周囲温度が高くなると絶縁寿命は短くなります。一般的には周囲温度が 6 ～ 10℃ 上昇する毎に絶縁寿命は半減すると言われています (アレニウスの法則)。周囲温度が高く、コイルの印加電圧が定格電圧を超過して連続印加された場合には、コイルの温度が高くなる為極端に寿命が短くなることがあります。

(2) 振動・衝撃

振動 $19.6m/s^2$、衝撃 $49m/s^2$ では接点の誤動作などは発生しませんが、この値以下の場合でも連続して振動・衝撃が加わる環境では疲労破損等により不具合を発生する可能性があります。
特に取付けられる盤等の共振により製品に大きな振動が加わることがありますのでご注意ください。

3.7 保守・点検および部品取換え

保守点検要領及び部品（コイル、接点）の取換え要領は「三菱電磁開閉器　取扱説明書ＩＢ(名)64406」を参照願います。
なお、下記機種は部品取換えができませんので、絶対に分解しないでください。

① MS-T シリーズ電磁接触器、継電器
（S(D)-T □、SR(D)-T □）
②機械ﾗｯﾁ式電磁接触器、継電器
（SL(D)- □、SRL(D)- □）
③遅延釈放形電磁接触器、継電器
（S-T/N □ DL、SR-T/N □ DL)
④高感度ｺﾝﾀｸﾀ（SD-Q □ /QR □）
⑤耐熱形電磁接触器、継電器（S/SL(D)/SR-N □ FK、S/SL(D)/SR/SRL(D)-T/N □ FN、B-N □ FN 形)、および MS-T/N □形箱入電磁開閉器は電気用品対象品ですので改造をしないでください。